

Exodus・出エジプト記 3:1-4:17 躊躇する指導者

先週から出エジプト記のメッセージを始めましたが、まず、イスラエルの民をエジプトから導き出す人物へと成長する、一人の赤ん坊を先週は紹介しました。イスラエルの人々はエジプトで奴隷となっていました。神は彼らをエジプトから脱出させ、自分たちの約束の地に移住させる計画を立てていました。そのために選ばれたのが、モーセという男でした。今日は3章から4章までをみてまいりますが、(3章)17節においてモーセが神に選ばれた事実が述べられています。しかしながら、人間の視点から見ると、モーセは欠点だらけで、なぜ神が選ばれたのかが分からないような人物です。出エジプト記3章に登場するモーセは、民から遠く離れた所にいて、殺人を犯したために、イスラエルの民からも拒絶され、ファラオからも追われる身となっていました。彼自身、自分が偉大なリーダーではないことを自覚していました。しかし、この消極的なリーダーの反応から、私たちは神について多くを学ぶことができます。

それでは、3章の1節から読み始めましょう。ここには、神ご自身がモーセに現われた時の様子が描かれています。モーセは、ミディアン人の祭司、しゅうとイテロの羊を飼っていた。彼はその群れを荒野の奥まで導いて、神の山ホレブにやって来た。²すると主の使いが、柴の茂みのただ中の、燃える炎の中で彼に現れた。彼が見ると、なんと、燃えているのに柴は燃え尽きていなかった。³モーセは思った。「近寄って、この大いなる光景を見よう。なぜ柴が燃え尽きないのだろう。」⁴主は、彼が横切って見に来るのをご覧になった。神は柴の茂みの中から彼に「モーセ、モーセ」と呼びかけられた。彼は「はい、ここにおります」と答えた。⁵神は仰せられた。「ここに近づいてはならない。あなたの履き物を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる地である。」⁶さらに仰せられた。「わたしはあなたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」モーセは顔を隠した。神を仰ぎ見るのを恐れたからである。この時点に至るまで、モーセは神に選ばれるようなことを何一つしていないのです。彼は、エジプトで王族に囲まれて育ちましたが、エジプトからは拒絶されているのです。また、自分を拒絶したイスラエルの民からも遠く離れています。また、イスラエルの神からも遠く離れた場所にいるのです。実際、彼の義理の父はまったく別の宗教、ミディアン人が認める別の神を崇拝する偽りの宗教の祭司だったのです。しかしながら、この(神が現れた)時点において、彼はミディアン地域の外にいて、義理の父の羊をホレブと呼ばれる山に連れて行っていました。また、モーセはお金儲けにおいても成功しているとは言えません。なぜならば、彼は自分の(羊の)群れの世話をしているのではなく、義理の父の群れの世話をしているからです。つまり、彼には自分の羊を率いる能力もないのに、神は彼に100万人以上の人々を率いることを望んでいるのです。マルコの福音書でペテロが自らをイエスに従う者として欠点だらけであると述べていたように、聖書の最初の5冊を書いたモーセも全く人々を導く資格を持っていなかったのです。

しかし、このような無名の、何も成し遂げたことがない人間に対して、神は、創世記の終わりから400年間続いたある種の沈黙を破って、ご自分を現すことを選ばれたのです。そして、神がご自分を現す方法として選んだのが、燃えているが、燃え尽きることにはなかった柴という、劇的な方法だったのです。その場面に遭遇すれば誰もそう思ったに違いありませんが、モーセは、「近寄って、この大いなる光景を見よう。なぜ柴が燃え尽きないのだろう。」と思いました。しかし、モーセが好奇心から柴に近づいたとき、さらに驚くべきことが起こりました。モーセの名前を呼んで彼の注意を引いた後、神がモーセに言った最初の言葉は、私たちの神の性格について多くを語っています。5節で神は次のように言っています。「ここに近づいてはならない。あなたの履き物を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる地である。」私たちが神を表現するときに使う神学用語の中に「神の単一性 (Divine Simplicity)」というものがあります。これは、(単一である)神は異なる属性や本質に分けることができないため、どれか一つの属性が他の属性よりも重要であることはありえない事実を指しています。だから、人々が神の怒りを受け入れず、愛である神のみを崇拝したいと言うとき、それは神に対する正しい理解ではありませんし、この二つの神の属性を切り離して考えることはできません。スティーブン・ウェラム氏 (アメリカのバプテスト系福音主義神学者) が述べているように、神の神聖さ、聖なる属性とは、「神の神々しさを表す包括的な表現法」なのです。神の他の属性はすべて、神の聖なる属性から出てくるものなのです。そして、神の聖なる属性は、神の性質のこの側面を強調するために何度も繰り返される神の唯一の属性でもあるのです。黙示録 4章8節には次の

ように書かれています。⁸この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りと内側は目で満ちていた。そして、昼も夜も休みなく言い続けていた。「聖なる、聖なる、聖なる、主なる神、全能者。昔おられ、今もおられ、やがて来られる方。」そしてこれは、旧約聖書のイザヤ書6章3節で、イザヤが天の御使いたちを見た時に、幻の中で聞いたのと同じことなのです。⁹互いにこう呼び交わしていた。「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満ちる。」これらの言葉は、私たちの神の偉大さ、栄光、神聖さを考えるために、また、私たちの心を想像を超えたものへと導くために、聖霊の靈感のもとで意図的に書かれたものなのです！最も簡単な定義では、神聖さとは、「区別されている」ということを指しており、神は超越的な存在として、ご自分が作られた被造物のすべてから離れ、その上におられるのです。そして、この「区別された」存在とは、道徳的な性質でもあるのです。つまり、それは道徳的な純粋さを指しており、道徳的に間違っているあらゆるものから、いつでも、どんな状況でも、絶対的に切り離された（区別された）状態にあることを指します。しかし、神聖さとは、その定義をさらに超えるものでもあるのです。シンクレア・ファーガソン（スコットランド出身の改革派神学者）は、「神聖さとは、神の存在そのもの、父、子、聖霊の三位一体の間に流れる愛の強さである」と主張しています。この定義は、私たちが神の神聖さを理解する上で大きな助けとなってくれます。なぜならば、これは、愛と神聖さとのつながりを示しているからです。神の神聖さとは、神がご自身に個人的に献身することであり、それが、他のもののために自分自身を捧げるという愛の定義そのものでもあるのです。つまり、神の神聖さと愛は表裏一体の関係にあり、神の義、そしてご自身の栄光に対する神の献身とコミットメントを示しているのです。被造物である私たちには、神のレベルの献身、神のレベルの愛、神のレベルの神聖さを全て理解すること、そのレベルの完全性を理解することは不可能です。だからこそ、6節において、モーセは顔を隠した。神を仰ぎ見るのを恐れたからである、と書かれています。神も、また、モーセに、「ここに近づいてはならない。あなたの履き物を脱げ。」と言っています。出エジプト記を通じて明らかになっていますが、このホレブ山（シナイ山とも呼ばれる）が、出エジプト記のさまざまな出来事にとって重要であるという点です。モーセが十戒に代表される律法を受けるのはその数ヶ月後と考えられますが、その律法を受けたのもこの場所であり、神は再び、神の聖なる栄光に人が直接接触することがないように、山の周囲に一定の隔たりを築くように指示されています。

今朝の聖書箇所最初の部分を終えるにあたって、三位一体とのつながりと、神の存在の本質を知るためのヒントを指摘したいと思います。ファーガソンの神聖さの定義を思い出してください。彼の定義では、神聖さとは三位一体のそれぞれの人格、父、子、そして聖霊の間の強い愛であると述べていました。ここに、三位一体を理解するためのヒントがあります。2節には、「すると主の使いが…彼に現れた。」と書かれています。旧約聖書を通して、私たちはこの主の使いを目にします。主の使いとは、イエス・キリストの受肉前、つまり誕生前の姿であると考えられてきました。この箇所は、2節以降の出来事を見ると、（主の使いが受肉前のイエスであると考えられる）強い根拠を示しています。つまり、2節では主の使いが現れたと書かれており、神とは別の人物であることを示唆していますが、4節では、モーセが聞いたのは神の声であると書かれています。すなわち、主の使いは神そのものであると（4節では）述べられていますが、しかし、そこには二人の異なる人物がいるのです。これはイエス・キリストにも同様に見られることなのです。イエスは人間として理解されていますが、神の子であり、神そのものであるとも理解されています。だから福音書を書いたヨハネは、イエスを意味する御言葉は神であると語っています。ヨハネの福音書1:1には、「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」と述べられています。だからこそ、私たちは、神が三位一体であることを2000年近くの間、教会とともに宣言してきました。（スクリーン上の言葉）神は唯一であり、父なる神、子なる神、聖霊なる神として永遠に存在していますが、父は子でも聖霊でもなく、子は父でも聖霊でもなく、聖霊は父でも子でもありません。三位一体の神、それは私たちには完全に理解することはできませんが、聖書に基づいた真実であり、信じなければならない真実なのです。つまり、この三位一体の神が、神の民の一人でありながら、神の民から遠く離れた、しかし決して神から離れたことのない人に、ご自分を表されたことを、この聖書箇所では見ることができます。シナイ山は神から離れた場所ではなかったのです。神はどこにでもおられるのです。神は、遍在し、同時にどこにでもおられるのです。神があなたを見つけられない場所など存在しないのです。そし

て、その神は永遠に存在する神であり、6節で述べられているように、モーセに自らを「わたしはあなたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」として名乗ることができる神なのです。これは、3500年後の今日、私たちが礼拝する神でもあります。さらに、これは、私たちが生き、モーセが生き、アダムとエバが生きた世界を創造された神でもあります。モーセはその日、創造主である神に出会いましたが、彼の反応は恐れでした。そして、私たちが神と出会うとき、本当に神と出会うとき、私たちは感情的な反応をしめすのではなく、自分は聖なる神の御前に立つに値しない、決してふさわしくないという圧倒的な思い（知識）に基づいた反応をしめすべきなのです。

そして、その出会いにおいて、神は、モーセの民であるヘブル人またはイスラエル人をエジプトから導き出すために、モーセを彼の民のリーダーとして召されました。7節から神のモーセへのメッセージが始まります。⁷主は言われた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみを確かに見、追い立てる者たちの前での彼らの叫びを聞いた。わたしは彼らの痛みを確かに知っている。⁸わたしが下って来たのは、エジプトの手から彼らを救い出し、その地から、広く良い地、乳と蜜の流れる地に…彼らを導き上るためである。出エジプト記2章は、25節の「神はイスラエルの子らをご覧になった。神は彼らをみこころに留められた。」という箇所です。神の神聖さのもう一つの側面は、神の義です。神はご自分の民の苦しみを見て、何もしないような神ではないのです。神は神聖であるがゆえに、ご自身の神聖さを示す行動をとることによって、ご自身の栄光を表されることを義とされます。そして、ご自分の民を奴隷状態から解放することによって、それをなさったのです。そして、エペソ人への手紙2:1に書かれているように「自分の背きと罪の中に死んでいた」私たちを、罪（の奴隷状態）から解放し、救いの道を用意してくださったという事実、神の義は究極的に現れています。モーセは自分自身をリーダーにふさわしい人間であるとは考えていませんでした。しかし、神は、「今、行け。わたしは、あなたをファラオのもとに遣わす。わたしの民、イスラエルの子らをエジプトから導き出せ。」と言われているのです。そして、モーセは11節で、「私は、いったい何者なのでしょう。ファラオのもとに行き、イスラエルの子らをエジプトから導き出さなければならないとは。」と答えています。ホレブ山、つまりシナイ山ですが、これが重要だと言ったことを皆さんは覚えていらっしゃいますか。神はモーセに、民をエジプトから救い出した目的は、彼らがまさにその場所で自由に神を礼拝できるようにするためだと告げています。12節では、「…あなたがたは、この山で神に仕えなければならない。」と神は言っています。神が人を奴隷状態から解放するのは、すなわち、神の救いの目的は、人が礼拝できるようにし、人が神に栄光をもたらすことができるようにするためなのです。それは、罪深い人々が神の聖なる臨在に入ることを可能にすることを意味します。神の民はエジプトから解放されない限り、この聖なる場所で礼拝することはできませんでした。しかし、ここには大きな問題がありました。当時どの文化においても、数多くの神々が存在し、あらゆるものに神が宿ると信じられていました。これは、まさしく日本文化に見られる神の理解（八百万の神など）と同じであり、西洋文化においても近年同様の傾向が見られます。なので、モーセは、どの神が自分を遣わされていると言えるのか、という点を（13節において）尋ねています。さらに、（その問いへの神の答えが書かれている）14節は、神が誰であるかということを理解する上で非常に重要な点を私たちに教えてくれます。14節から15節には次のように書かれています。¹⁴神はモーセに仰せられた。「わたしは『わたしはある』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエルの子らに、こう言わなければならない。『わたしはある』という方が私をあなたがたのところに遣わされた、と。」¹⁵神はさらにモーセに仰せられた。「イスラエルの子らに、こう言え。『あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、主が、あなたがたのところに私を遣わされた』と。これが永遠にわたしの名である。これが代々にわたり、わたしの呼び名である。つまり、神はご自身の神聖さだけでなく、ご自身の個人名もモーセに明らかにされたのです。神は、「わたしは『わたしはある』という者である。」とすることによって、自らを神であると宣言する他のいかなる物とも一線を画する形で、自分が神であることを宣言しています。これはヘブライ語で、ヤハウエ（YAHWEH）（スクリーンに投影）として表されます。そして、神が永遠であること、常に存在し、常に存在したこと、そして時間の中に存在するすべてのものが神の直接的な結果であることを示す、神自身の個人的な名前なのです。創世記において、初期の人類が神の御名を礼拝していましたが、この頃になると、神がご自身のために創造された民は、神の御名も、神の神聖さも、神を礼拝する必

要性も忘れてしまっていました。そこで神は、アブラハムの神を完全に忘れてしまったアブラハムの子孫に、自分を再び紹介しているのです。神の神聖さに見られるのと同じように、神の御名の中に、神の絶対的な主権の栄光が示されるのを見ることができます。最近、ヤハウェ（YHWH）は息を吸って吐く音であり、生命を持つすべてのものに宿る神性を表しているという、解釈が広まっています。しかし、これはユダヤ神秘主義に基づく解釈であり、聖書にはそのように解釈する根拠はありません。

神の栄光、御名、神聖さを目の当たりにした時の私たちの応答は、神秘主義に基づき、神の御名にまつわる解釈をでっち上げるのではなく、礼拝であるべきです。しかし、この時のモーセの応答は、神が示されたリーダーシップを拒絶するというものでありました。4章に入ると、神がモーセのリーダーシップを拒絶している理由に答えているのがわかります。出エジプト記4:1で、モーセは神にこのように言っています。「**ですが、彼らは私の言うことを信じず、私の声に耳を傾けないでしょう。むしろ、『主はあなたに現れなかった』と言うでしょう。**」このように主張するモーセに対して、神は二つの奇跡を見せて応えました。一つは、神はモーセの杖を蛇に変えられ、再び杖に戻されました。もう一つは、神はモーセの手をツァラアト(ハンセン病)で冒し、そして癒されました。神は、もしユダヤの人々がこの二つのしるしを信じないなら、ナイル川の水を汲み上げなさい、それが血に変わる、と言いました。すると、モーセは、ユダヤの人々は自分を信じない（だろうから、リーダーにはなりたくない）という主張から、自分は話し下手だ（から、リーダーにはなりたくない）という主張にずらしていきます。それに対する神の反論は4章の11節から12節に書かれています。「**人に口をつけたのはだれか。だれが口をきけなくし、耳をふさぎ、目を開け、また閉ざすのか。それは、わたし、主ではないか。今、行け。わたしがあなたの口とともにあって、あなたが語るべきことを教える。**」と神は言われました。しかし、神がモーセの言葉を力づけるというこの保証でさえ、モーセにとっては十分ではなかったのです。聖書は14節で「**主の怒りがモーセに向かって燃え上がり**」と表現していますが、神はさらにモーセがアロンに何を言うべきかを伝える形で、兄アロンがモーセの言葉を代弁すると言われました。16節から17節において神は、「**彼（アロン）があなたに代わって民に語る。彼があなたにとって口となり、あなたは彼にとって神の代わりとなる。また、あなたはこの杖を手に取り、これでしるしを行わなければならない。**」と言いました。なぜこの聖書の場面では、モーセが神に言い返したときに、神の怒りが燃え上がったと書かれているのでしょうか？それは、モーセが神の聖なる存在を目の当たりにしたにもかかわらず、自分の生き方を変えようとしなかったからです。本来、神の神聖さに触れたとき、私たちはそれに応答する形で、神に従う姿勢をとるべきです。そして、私たちの生き方の中に神の聖さを映し出したいという願望として現れるべきなのです。しかし、モーセの反応は、出エジプト記3:4で「**はい、ここにおります**」という言葉から始まったにもかかわらず、当時の地上最大の超大国エジプトに立ち向かう聖なる神の力をまだ十分に理解していなかったことを如実に示しています。今日の聖書箇所への私たちへの適用は、神の神聖さを少しでも垣間見ることができるよう祈ることにあります。神の神聖さを垣間見れば、私たちの人間的理解には限界があるにせよ、私たちの生き方を永遠に変えることになるでしょう。神の神聖さを理解することで、神が私たちの罪を贖うために救い主を遣わされたとき、神が私たちに示した優しさ、つまり私たちが受けるに値しない恵みに気づくことができます。このように神の神聖さを深く知ることは、神への愛から心から礼拝をささげ、また他の人への愛から進んで奉仕する力の源になるのです。第一ペテロの手紙1:16には「**あなたがたは聖なる者でなければならない。**」と書かれている通りです。神の神聖さと、神の神聖さに照らして神があなたに求めておられる応答を、みなさんは本当に理解できているのでしょうか？祈りましょう。

Exodus 3:1-4:17 The Reluctant Leader

Last week as we began the book of Exodus, we were introduced to the baby who would grow into the man who would lead the people of Israel out of Egypt. Israel was enslaved in Egypt, and God is working out a plan to have them leave and move to their own promised land. And his chosen man to do that is Moses. Today, we come to chapter 3 and we will go through chapter 4, verse 17 and we will see Moses find out that God has chosen him. From a human standpoint, Moses is not a great choice. When we find him in Exodus 3, he is far removed from his people because he committed a murder and in a way was rejected by even his own Hebrew people and hunted by Pharaoh because of the murder. He himself recognizes that he is not a great leader. But in the response of this reluctant leader, we learn a lot about our God.

Let's begin reading at verse 1 of chapter 3, where we see **God revealing himself to Moses.** **3 Now Moses was keeping the flock of his father-in-law, Jethro, the priest of Midian, and he led his flock to the west side of the wilderness and came to Horeb, the mountain of God. ² And the angel of the Lord appeared to him in a flame of fire out of the midst of a bush. He looked, and behold, the bush was burning, yet it was not consumed. ³ And Moses said, "I will turn aside to see this great sight, why the bush is not burned." ⁴ When the Lord saw that he turned aside to see, God called to him out of the bush, "Moses, Moses!" And he said, "Here I am." ⁵ Then he said, "Do not come near; take your sandals off your feet, for the place on which you are standing is holy ground." ⁶ And he said, "I am the God of your father, the God of Abraham, the God of Isaac, and the God of Jacob." And Moses hid his face, for he was afraid to look at God.** At this point, Moses has not really amounted to much. He grew up at least around royalty in Egypt and yet has been rejected by Egypt. He is far away from his own people who have rejected him. And he is far away from the God of Israel as well. In fact, his father in law is a priest for a different religion entirely, a false religion that worshipped another god recognized by the Midianite people. But at this point he is actually alone, because he is outside of the area of Midian and has led his father in law's sheep to a mountain here called Horeb. We could say he's not very good at business either, since he is not caring for his own flock, he is tending his father in law's flock. So, he is not even leading his own sheep, but God wants him to lead more than 1 million people as we are about to see. Just like we saw with Peter in how he described himself as the worst type of follower of Jesus in the book of Mark, I think we see Moses here, who authored these first 5 books of the Bible show us just how unqualified he was to lead these people.

But to this unqualified kind of nobody man, God chose to reveal himself after 400 years of what seems to be a sort of silence, at least since the end of Genesis. And the way God revealed himself was to get his attention in a dramatic way, a bush was on fire, but not being burned up! As any of us would, he thought, **"I will turn aside to see this great sight, why the bush is not burned."** But when he approaches that bush out of curiosity, something even more amazing happens – God speaks to him personally. And the first thing God says to Moses after getting his attention by calling his name tells us much about the character of our God. He said in verse 5, **"Do not come near; take your sandals off your feet, for the place on which you are standing is holy ground."** There is a theological term we use to describe God called Divine Simplicity. This means that God is not dividable into different parts or attributes so no attribute is more significant than the others. So, when people say they don't want to accept God's wrath, but instead worship

the God who is love, that is incorrect...they cannot be separated. But holiness as described by Stephen Wellum is the “overarching way of describing God’s sheer God-ness...” All of his other attributes are interpreted and come out of God’s holy character. It is the only attribute of God that is repeated over and over to emphasize this aspect of God’s nature. Revelation 4:8 tells us that “day and night they [heavenly creatures] never cease to say, Holy, holy, holy, is the Lord God Almighty, who was and is and is to come!” And this is the same vision that Isaiah had in the Old Testament in Isaiah 6:3 when he saw Heavenly angels... And one called to another and said: “Holy, holy, holy is the LORD of hosts; the whole earth is full of his glory!” These words were intentionally written under the inspiration of the Holy Spirit to direct your mind and imagination to go beyond anything you can imagine to consider the greatness and glory and holiness of our God! Holiness in its simplest definition means to be “set apart,” and certainly God is transcendent, apart and above his creatures and all of his creation. And there is a moral quality to this set apartness as well. It speaks of moral purity, an absolute separation from anything and everything that would be thought of as morally wrong, at all times and in all circumstances. But holiness is even beyond that definition. Sinclair Ferguson says that “holiness is the intensity of the love that flows within the very being of God, among and between each of the three persons of the Father, Son and Holy Spirit.” That’s helpful because it shows us the connection of love to holiness. God’s holiness is God’s personal devotion to himself, which is the definition of love – devoting yourself to the good of another. So his holiness and his love are two sides of the same coin showing God’s commitment and devotion to his good and therefore his own glory. So when created beings come into contact with that level of commitment, that level of love, that degree of holiness, the intensity of that level of perfection is impossible for us to fully understand. So, we see Moses in verse 6 hide his face, for he was afraid to look at God. And we see God on his part telling Moses, “stop...don’t come any closer and take your shoes off!” What will become very clear in Exodus is that this location of Mount Horeb, also called Mount Sinai is important to the events of the book. This is where Moses will receive the law, represented by the 10 Commandments likely just months later, and at that point, God will once again direct certain barriers be erected around the mountain to keep the people away from direct contact with God’s holy glory.

I don’t want to leave this first part of the passage for today without pointing out the connection to the Trinity and the hint we get of the nature of God’s existence. Remember Ferguson’s definition of holiness being tied to the intense love between the persons, Father, Son and Spirit of the Trinity. We see a hint at that Trinity here. Verse 2 says, the angel of the Lord appeared to ...Moses. Throughout the Old Testament we see this Angel of the Lord. The Angel of the Lord is a pre-incarnate, meaning before his birth, appearance of Jesus Christ. This passage would suggest strong evidence for that based on what happens after verse 2. So, we are told it is the Angel of the Lord, which is suggesting a different person than God, but then in verse 4, we are told that it is God’s voice that Moses hears. So the Angel of the Lord is identified as God himself, and yet there seems to be two different people in mind. This is what we see with Jesus Christ. He is recognized as a man but said to be the Son of God and God himself. So the gospel writer, John, tells us that the Word, meaning Jesus, is God. John 1:1 says, 1 In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God. So, we declare with the church for nearly 2000 years that God is a Trinity. [on the screen]. God is one God who eternally exists as the Father who is God, the Son who is God, and the Spirit who is God, but the Father is not the Son or the Spirit, the Son is not the

Father or the Spirit and the Spirit is not the Father or the Son. Three persons in one God, that we can never fully understand, but based on the Bible must believe is true. So we see this trinitarian God introduce himself to a man who is one of his people, but far away from the people of God, but never away from God. Mount Sinai was not away from God. He is everywhere... omnipresent, everywhere at the same time. You are never in a place where God cannot find you. And that God is an eternally existing God who can introduce himself to Moses in verse 6 as the “...the God of your father, the God of Abraham, the God of Isaac, and the God of Jacob.” This is the same God we worship today 3500 years later. This is the same God who created the world that we live in and Moses lived in and Adam and Eve lived in. Moses met his creator God that day and his response was that of fear. And when we meet our God, really meet God, it will not be a response of gushy emotional feelings, it will be a response of an overwhelming knowledge of our unworthiness and inability to ever be worthy to stand in the presence of our holy God.

And what happens in that meeting is that God calls Moses to lead his people, the Hebrews or Israelites out of Egypt. God begins his message to Moses in verse 7. ⁷Then the Lord said, “I have surely seen the affliction of my people who are in Egypt and have heard their cry because of their taskmasters. I know their sufferings, ⁸and I have come down to deliver them out of the hand of the Egyptians and to bring them up out of that land to a good and broad land, a land flowing with milk and honey... Exodus 2 ended with verse 25, God saw the people of Israel—and God knew. Another aspect that flows from God’s holiness is his goodness. He didn’t just see the suffering of his people, and do nothing. His holiness means that he is perfectly good to display his glory by acting in a way that shows his holiness. And he will do that by delivering his people out of slavery. And the ultimate display of God’s goodness is the salvation of sinners from the sin that enslaves us and keeps us dead in our trespasses and sin, according to Ephesians 2:1. Of course Moses doesn’t see himself as a leader. God says, “I will send you to Pharaoh that you may bring my people, the children of Israel, out of Egypt.” And Moses responds in verse 11, Who am I that I should go to Pharaoh and bring the children of Israel out of Egypt? Remember that I said that Mount Horeb or Sinai is important? God tells Moses that the purpose of delivering the people from Egypt is so that they can freely worship God in that very spot. In verse 12 he says, you shall serve God on this mountain. The goal of deliverance and the purpose of salvation is worship, bringing glory of God. It enables sinful people to enter into his holy presence, which is impossible when we are trapped in sin. The people of God could not worship at this holy place unless they were freed from Egypt. But there is a problem. At that time every culture believed in numerous gods and that everything had some aspect of divinity in it. This is the same paganism that we see in Japanese culture and even coming back in western cultures. So Moses asks God essentially what do I say when they ask me what your name is...in other words, which God do I tell them is sending me. And in verse 14 we have another passage that introduces us to something foundational to who God is. Verse 14-15 says, ¹⁴God said to Moses, “I am who I am.”^[a] And he said, “Say this to the people of Israel: ‘I am has sent me to you.’” ¹⁵God also said to Moses, “Say this to the people of Israel: ‘The Lord, the God of your fathers, the God of Abraham, the God of Isaac, and the God of Jacob, has sent me to you.’ This is my name forever, and thus I am to be remembered throughout all generations. So, not only does God reveal his holiness, but his personal name to Moses, as well. God sets himself apart from any other thing or force that would proclaim themselves God by saying my name is I AM or I AM WHO I AM. This is the

Hebrew word, YHWH (YAHWEH) [on screen]. It is God's personal name for himself that shows that he is eternal, he always is, always was and everything that exists in time is a direct result of him. While we know from Genesis that the earliest humans worshipped God's name, by this time, this people that God had raised up for himself had forgotten his name, his holiness and the need to worship their God. So, he reintroduces himself to this descendent of Abraham who seems not to have known the God of Abraham. Once again in God's very name, we see the absolute sovereign glory of God displayed in the same way that we see in his holiness. Recently there is a popular view that YHWH is the sound of breathing in and out which represents divinity in everything that has life. This is Jewish mysticism and is not in the Bible.

Rather than make up myths about his name, our response to the revelation of God's glory, his name, and his holiness should be worship, but for Moses it was a rejection of leadership. As we enter chapter 4, we see **God answering Moses's objections**. In verse 1 of Exodus 4, Moses tells God, "they will not believe me or listen to my voice, for they will say, 'The Lord did not appear to you.'" God responds by showing Moses two miracles. God causes his staff to turn into a snake and then back into a shepherd's staff and his hand to have leprosy and then heals it. God says if they won't believe those two signs then take up water from the Nile river and it will turn to blood. So, Moses moves from they won't believe him to saying that he is not a good speaker. God's response to him is in chapter 4, verses 11-12 "Who has made man's mouth? Who makes him mute, or deaf, or seeing, or blind? Is it not I, the Lord?"¹² Now therefore go, and I will be with your mouth and teach you what you shall speak." But even this assurance from God that he will empower his speech is not enough for Moses. And in what the Bible describes as **anger** in verse 14, on the part of God, God says that his brother Aaron would speak Moses's words for him, while Moses told Aaron what to say. So verses 16-17 end by God saying, ¹⁶He [Aaron] shall speak for you to the people, and he shall be your mouth, and you shall be as God to him. ¹⁷And take in your hand this staff, with which you shall do the signs." Why would the Bible speak of God in terms of getting angry with Moses over his objections? It's because when we get even a glimpse of God's holiness like Moses had, it should change the way we live. It should be reflected in our obedience, in our desire to reflect that holiness in our lives. Moses's response showed that although he began with the words, "here I am" in Exodus 3:4, he still did not fully grasp the power of a holy God to stand up to the greatest superpower on earth at that time – Egypt. The application for us today should be to pray that we would get even a small glimpse of God's holiness. That look, though it will be limited by our human understanding, will change the way we live forever. That understanding of God's holiness will cause us to marvel at his grace, the kindness he gives us that we don't deserve, when he sent a Savior to pay for our sin. And that view of God's holiness will drive our worship out of love for God and our service out of love for others as we live out the command of scripture in 1Peter 1:16, "be holy, for I am holy". Have you truly come to understand the holiness of God and the response God is calling you to have in light of his holiness? Let's pray.